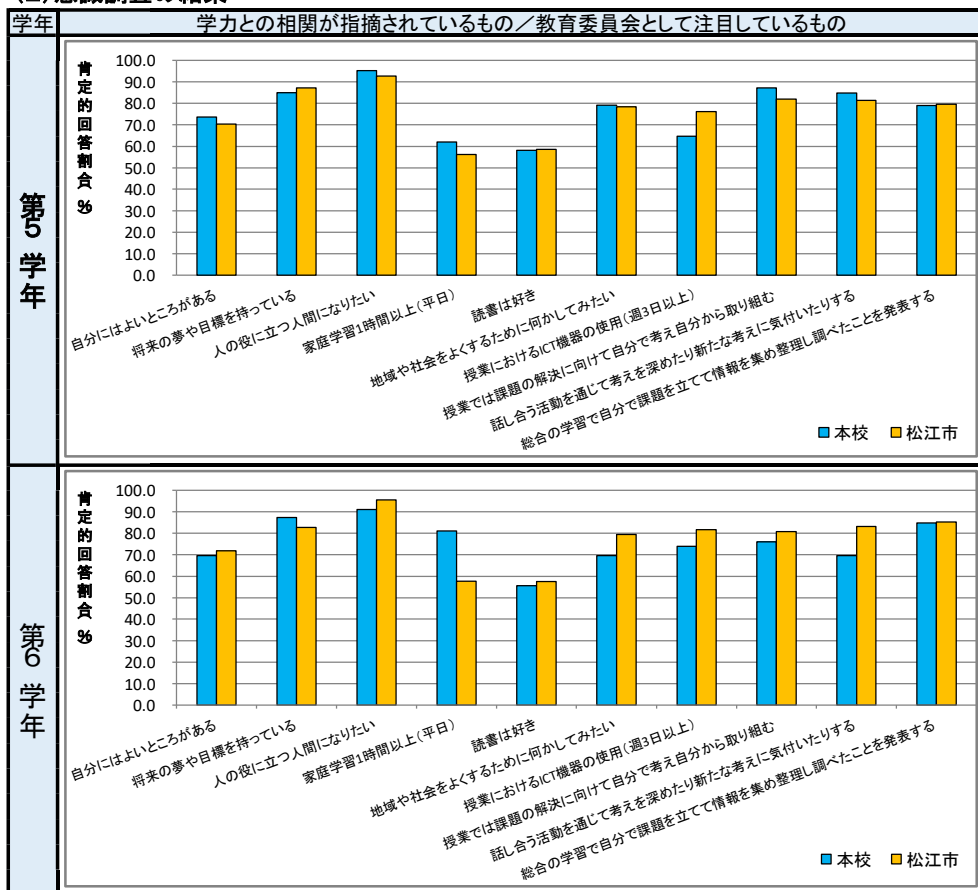


(1)教科調査の結果

学年	教科	分析(成果○/課題●)	改善策(○)
第5学年	国語	成果 ○漢字の由来や対義語など、言葉についての理解は概ねできている。 ○目的に応じて資料を読み、内容を理解する力が身に付いてきている。	・自分の思いや考えを分かりやすく相手に伝えることができるように指導する。「短い言葉や文章でまとめる。」「話型、定型文を示し、話したり、書いたりしやすいようにする。」等
		課題 ●相手の意図や目的に応じて話したり、文章を書いたりすることに課題がある。また、自分の考えをまとめて伝えることにも課題がある。 ●相手に分かりやすいように文章全体の構成や展開を考えて書くことに課題がある。	
第5学年	算数	成果 ○偶数・奇数、倍数・約数といった基本的な整数の性質についての理解は概ねできている。 ○小数の計算の仕方については全体的に理解している。	・文章題を解くときに、関係図や数直線を用いて数値の関係を捉えさせて立式できるように指導していく。
		課題 ●基本的な知識・技能は概ね身に付いているが、それを応用して問題を解くことに課題がある。特に文章題では、必要な情報を読み取り、2つの数値の関係性を捉えることが難しい。また、動画の問題のような児童が慣れていない問題については、解きにくさを感じている児童が多い。 ●わり算・小数・分数の関係性を理解していない児童の割合が多い。 ●分数の計算では、通分や約分の仕方に課題があり、正答を求めることが難しい。	
第6学年	国語	成果 ○話すこと・聞くことでは全国推定値を上回っており、全校で取り組んでいるスピーチ活動の成果が出ている。 ○書くことでは、図表を用いて自分の考えが伝わるように書き方を工夫する力が育ってきている。	・読書をする習慣をつけ、語彙を増やしたり、様々な文章にふれたりして、想像力を豊かにする。 ・自分の書いた文章について、個人で「推敲する」時間を十分に確保し、言葉や接続語、熟語などが正しく使えているか読み返す。
		課題 ●領域や内容に限らず、全体的に全国推定値を下回っている。 ●言葉の学習の内容では、全国推定値を大きく下回っており、接続語の使い方や熟語の成り立ちへの理解に課題がある。	
第6学年	算数	成果 ○分数の計算では、全国推定値を上回っている。 ○図形領域の対称な形では、基本的な知識・技能が身に付いている。	・文章題では、式だけでなく図や言葉などを書くことを意識づけ、自分の考えを表現することができるようにする。
		課題 ●単純な計算や数のあてはめはできるが、文章題の題意を適切に読み取ったり、筋道を立てて考えたりする問題には取り組む力が弱い。 ●文字と式の内容で、XやYなど抽象的なものがでてくると抵抗がある児童が多い。 ●XやYなどの抽象的なものがでてくると、具体的に想像ができず、問題が理解できない。	

(2)意識調査の結果



＜傾向と今後の対策、分析＞

成果○：強み/伸ばしたい点 について
課題●：弱み/改善を要する点 について

【第5学年】

○普段の学習において、自分の考えをもったり、話し合いの中でよりよい方向へ学習を進めようとしたりする意識が高まってきている。
●ICTの有効な活用方法について校内で検討し、ICT機器を使った授業改善を図っていく。

【第6学年】

○家庭学習を1時間以上する児童の割合が高い。
○将来の夢や目標を持っている児童の割合が高い。
●ペアやグループ学習の時間を意図的に設定して、対話を通して考えを深められるようにする。

【R7学力調査受検者数】

第5学年 86 名

第6学年 79 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示